



sapporo
education and culture hall
news

raku

Sosei Gekijyo

KANKINOH

KANZE/KITA

6.16 tue.



KANKINOH



創生劇場 観喜能
本格的を、ちよつとずつ。



創生劇場

観喜能

本格的を、ちよつとずつ。

能は、流派によっておなじ演目でも謡や舞など、それぞれの型が異なっています。二流派を一度に見られる新しい試み、狂言やレクチャーも含めて本格的な能楽を少しずつ楽しめる、豪華な能公演をお届けします。



Kanzeryu Miwa

大和の三輪山に住む玄寶僧都の所に毎日橋と閻伽(あか。仏前に供える水)を持つてくる女があり、寒さをしのぐ衣を一枚所望した。僧都が住処を問うと「杉立てる門」を目印に訪ねるように言い姿を消す。御神木の杉に掛けられた衣の袂には金の文字で神託の和歌が記

してあった。僧都が読むと巫女の姿を借りた三輪明神が現れ、三輪明神にまつわる神婚説話を語る。さらに、天の岩戸隠れの時に舞われた舞が神楽の初めだと言つて舞い、三輪の神と伊勢の天照大神本体が同一であると告げる。神道の清浄さと格調の高さが強調された佳曲。

KANKINOH

三輪

観世流

Message from 創生劇場

演者にも注目

能の世界に、新しい風を送り込む。二流派、若手能楽師が出演。

観世流

「創生劇場」は、国内の貴重な伝統芸能・文化を発信し、将来に継承する拠点施設となる「国立京都伝統芸能文化センター(仮)」の誘致を目指し実施しています。「創生劇場」はこのモデル事業として既存の分野や流派を越えた若手伝統芸能家を中心に、伝統の中に新しい魅力を生み出すべく、独創かつ意欲的な舞台を創造・展開しています。今回は、能の観世流と喜多流をみくらべる公演を開催します。能の流派は観世、宝生、金春、金剛、喜多と五流あり、謡の詞章や節舞の型が異なります。またその流派にしかない演目や、同じ演目でも表現や解釈が異なるものもあります。繊細優美な観世流と、武士気風の気迫を残す喜多流、お互いの特徴を色濃くあらかず演目を取り上げ、二流派をみくらべます。またレクチャーでは、同じ演目を両流派が同時に舞うなど実験的な試みも行います。公演と重ねてぜひ！

初代は観阿弥清次。時の室町幕府三代将軍足利義満に認められ、その庇護のもと都の貴族文化を吸収していきます。観世座の能は、観阿弥、世阿弥父子によって芸能として洗練され、深みを増しました。観阿弥の後を継いだ世阿弥は、夢幻能という今までにないスタイルを確立し、「風姿花伝」など現代にも読まれていく芸能論を著すなど、傑出した才能を発揮しました。現在、観世流は能楽師約900人を擁する最大の流派となっています。

喜多流



片山伸吾【観世流シテ方】

観世流能楽師準職分。幼少より、父・慶次郎及び人間国宝片山幽雪に稽古を受ける。能や古典芸能全般の勉強会「花習塾」を主宰し能の魅力を身近な距離で見せる「Noh-Live」などを催す。



大島輝久【喜多流シテ方】

能楽シテ方喜多流職分。喜多流職分大島政允の長男。能大島家五代目。

能はその時代の普遍的な出来事を綴ったシンプルな芸能です。物語に思いを馳せ、自身の人生経験と結びつけながら鑑賞すると、また新しい像がみえてきます。囃子の音に身を任せ、観世流の能を観て喜多流の能を喜ぶ、そんな観喜能のひとつときをお楽しみください。

萩原 麗子【京都芸術センター プログラムディレクター】

京都市生まれ。2002年 京都芸術センター アートコーディネーター、2005年茂山狂言会を経て、2011年より現職。伝統芸能の普及や未来を模索するプロジェクトの企画立案や制作を担う。



教文古典芸能シリーズ 創生劇場

観喜能 KANKINOH

2015年6月16日【火】 17:45開場 / 18:30開演

札幌市教育文化会館 大ホール(能舞台)

【出演】片山伸吾 / 佐々木多門 / 大島輝久 / 茂山茂 ほか

【チケット取扱】

教文プレイガイド 011-271-3355

大丸藤井プレイガイド、道新プレイガイド、チケットぴあ、ロソンチケット

レクチャー

初めて触れる能の世界 観世流と喜多流をみくらべて

観世流と喜多流の能をみくらべるレクチャー。ゲストに情報科学芸術大学院大学教授の小林昌廣さんを招き、歌舞伎、文楽などほかの伝統芸能をとりあげながら、流派の違いをわかりやすく解説します。両流派の能楽師の実演を交えたみくらべも必見です。

2015年6月16日【火】 13:00~14:30

札幌市教育文化会館 大ホール (能舞台)

料金 1,000円

教文ホールメイト、能楽公演チケット所持者500円

(全席自由/チケットは教文プレイガイドのみの取扱)

教文 演フェス KYOBUN ENGEKI FESTIVAL 2015

テーマ「エン」

教文演劇フェスティバル2015
2015.7.25(土) 8.27(木)

毎年夏に札幌市教育文化会館で開催される「教文演劇フェスティバル」。20分以内の舞台作品を競い合う「短編演劇祭」を中心に、演劇を観たことがない人も楽しめ、演劇経験者をもっとおもしろくなる演劇のお祭りです。内容も観客数も年々増え続ける夏の演劇祭に、是非ご期待ください。

INTERVIEW

[インタビュー／齊藤雅彰(教文演劇フェスティバル実行委員会 実行委員長)]

演劇が、人と人を結ぶ「エン」になる。

今回のテーマは「エン」。それは、縁かもしれないし、円、あるいは演かもしれませんが、それは今回参加する皆さんの想像力に任せようと思っています。昨年のテーマは「ワナ」で、教文短編演劇祭の優勝したシアターユニット「星くずロンリネス」の作品はまさにうまく「ワナ」を仕掛けた脚本でした。この作品は、九州から北海道まで全国各地からの短編演劇チャンピオンが競い合うコンテスト「劇王」にも参戦したんです。今回は惜しくも敗れてしまいましたが、「星くずロンリネス」の皆さんには今年の短編演劇祭で、チャンピオンベルトを巡っての激しい防衛戦を繰り広げて欲しいですね。短編演劇祭の見どころは、この防衛戦のほかにも、全国のトップレベルの劇団が「刺客」としてやってくるところにもあります。単純に作品のおもしろさだけではなく、アウェイの劇団とホームで迎え撃つ劇団の戦いは、観客の投票によっても勝負が変わってくるかもしれません。応援劇団を決めて観ると、観劇のおもしろさが倍増しますよ。演フェスのいいところは、気楽に演劇を楽しめるところ。短編演劇祭もワークショップも、演劇の楽しみ方の幅をきっと広げてくれるでしょう。演フェスの「エン」でたくさんの方がつながって楽しんでくれたらと思います。



PROFILE

齊藤 雅彰
(サイトウ マサアキ)

- 教文演劇フェスティバル 実行委員会 実行委員長
- 日本劇作家協会会員 北海道支部 支部長
- 北海道舞台塾実行委員
- 演劇集団・超級市場 主宰

PICK UP EVENTS

[教文主催事業ピックアップ]



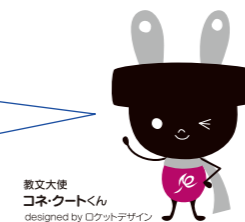
秀吉ゆかりの舞楽と講談の競演 さくらの園遊会

5月21日(木) 18:30 小ホール

平安時代から今に伝えられている舞楽。「舞楽(ぶがく)」は舞楽のうちの舞を主としたものを指します。長い間男性が舞うものとされていた舞楽を女性が雅やかに舞う姿は一見の価値あり。舞楽の復興に力を入れた豊臣秀吉にちなんだ講談も聴きどころです。



古典芸能から、旬のキャストで楽しめる音楽劇まで。幅広い年代に楽しんでいただける演目です!



教文大使
コネクトくん
designed by ロケットデザイン



気づかいルーシー

9月18日(金) 19:00
9月19日(土) 11:30 小ホール

松尾スズキの異色の絵本が音楽劇に。主人公のルーシーと、育ての親のおじいさん、その馬が互いに気づかいすぎるあまり引き起こす残念な悲喜劇。松尾スズキならではの一筋縄ではいかないブラックな童話を、子どもも大人も楽しめる、歌あり踊りあり、観客を巻き込みながらの舞台にしてお贈りします。

原作/松尾 スズキ
脚本・演出/ノゾエ 征爾
出演/岸井 ゆきの、栗原 類、山中 崇、小野寺 修二 ほか



岸井ゆきの 栗原 類



教文短編演劇祭 2015

予選 8月15日[土] Aブロック14:00~16:00、Bブロック18:00~20:00
決勝 8月16日[日] 14:00~17:00

道内外で活躍する劇団やユニットが集まり、20分以内の作品を2日間にわたって競い合う「教文短編演劇祭」。今年は大坂や茨城、道内各地の15団体から応募がありました。予選ブロックに残るのは8チームだけ。観客と審査員の投票で勝ち残った2チームと昨年のチャンピオン、そして道外からの「刺客」劇団との熾烈な戦いが繰り広げられる2日目の決勝戦は、特に目が離せません!

初心者も未経験者も受けて楽しいワークショップ

7月25日[土]・26日[日] 講師:齊藤雅彰

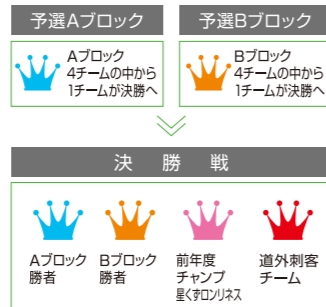
演劇に興味がある方なら誰でも、その面白さを体験できるワークショップです。

高校生演劇ワークショップ「転校生」

8月1日[土]・2日[日]・6日[木]・9日[日] 講師:橋口幸絵、櫻井ヒロ

平田オリザ作「転校生」などの台本を使用し、来年3月小ホール公演の出演者オーディションも兼ねたワークショップをおこないます。

【大会の流れ】



優勝決定!



橋口幸絵 櫻井ヒロ

教文演劇フェスティバル2015 小ホール公演

『帝国の白いカルト』

主人公はどこにでもいる普通の女性、佐藤詩織。ひょんなことから友人に誘われて“光の帝国”という宗教団体の集会に行くことになってしまった彼女。一癖も二癖もある役員や信者達に巻き込まれつつも彼等の“信仰”に触れ詩織に少しずつ変化が訪れる。自分の守りたい物のために何を信じて行動するのか。自らの願いを叶えようとする者の強い力に巻き込まれていく人々。衝撃の結末は悲劇か、喜劇か。えうご期待。

8月25日[火] 19:00
26日[水] 14:00 / 19:00
27日[木] 19:00

[脚本・演出・総監督] 剣崎薫

[料金]
一般前売 1,800円、学生前売 1,500円
中学生以下前売 1,000円、未就学児童無料
※当日券は各200円UP ※教文ホールメイト各300円引



教文アートめぐり 4

「洋 2000」

[設置:平成13年]

木々のなかにゆるやかに腕を広げ、すっと立つ女性の像「洋」と名付けられたこの彫刻は、人間像にこだわり続け、人をテーマにすることで時代をも映しだしてきた彫刻家・佐藤忠良の一番弟子である笹戸千津子の手によるものです。笹戸は師である佐藤のモデルとして、またその意志を受け継ぐ者として、制作活動に打ち込んできました。大通公園の12丁目には、佐藤の「若い女の像」が札幌市資料館をバックに堂々と建っており、そのふたつを見比べることで、子弟の間にある深いつながりや、女性彫刻家である笹戸ならではの視線が見えてくるかもしれません。

人間像をつくりつづけた作家が映しだすもの



笹戸千津子 (1948~)
Sasado Chizuko
山口県生まれ。北海道で幼少~青年期を過ごした佐藤忠良に師事。29歳で新制作協会会員に推挙され、数多くの作品が全国の公共彫刻として設置されている。

光耀 萌希から指名→

さっぽろ 演劇人

No.004

上田 龍成

上田 龍成 プロフィール

wavision代表。2007年頃より映像制作を始め、芝居や各種ライブなどの映像を多数制作する。シアターユニット「星くず」の代表、脚本の執筆も担当する。J:com「SAPORO NAMARA TV」ディレクター。



芝居を劇場じゃないところで、劇場で芝居じゃないことを、がモットー。

SAPPORO ENGEKIJIN RYUSEI UEDA

—— 昨年、教文演劇フェスティバル2014「短編演劇祭」にてみごと優勝を果たしたシアターユニット「星くず」の代表、会場に笑いを巻き起こした脚本を担当し、演出をしたのが上田龍成さんです。演劇に留まらず、イベント企画運営や映像制作など幅広い活躍を見せる上田さんに、これまでのこと、これからのことをインタビューしました。

—— 演劇を始めたのは？

「北海学園大学の演劇研究会に入っ。最初は演劇は暗いとかオタクっぽいイメージがあったんですが、たまたまのぞいてみたら、こんなカッコいい人達が演劇やってるんだ！ってカルチャーショックを受けて、そのまま入部しちゃいましたね」

—— 演劇のほかにイベント企画や映像制作など幅広く活動していますが、どういうきっかけで？

「もともと趣味で映像の編集もしていたんですけど、ほかの劇団に出演した時に、映像制作のお手伝いをしたんです。それをきっかけに映像の仕事が来るようになって。それで企画運営団体『ウェイビジョン』を立ち上げて現在に至っています」

—— 「星くず」の活動は？

「まわりが就活するっていう時期に演劇がすごく面白くなって『星くず』を立ち上げて。

イベント企画や映像制作と全部並行している感じです。団体のモットーとして、劇場以外で芝居をして、劇場で芝居以外をするっていうのがあるんです。だから「星くず」もバーやライブハウスで演じることが多いです。バンドの入れ替えの間に短編をやったり。お芝居って自分が最初に思ってたような偏見で、なかなか劇場まで足を運んでもらえない。もともと皆さんの人に観てほしくて、劇場以外で上演し、興味を持つきっかけになればと思っています」

—— これから力を入れていきたい活動は？

「札幌オーギリング」という大喜利ライブのイベントです。普通にお題に対して面白く答えるのがメインなんですが、プロレスみたいな軍団があつて、それぞれ対立のストーリーがある。世代闘争とかも(笑)。出演者は役者もいればミュージシャンやお笑い芸人、漫画家が出ることもあります。映像も使いながら、お客さんにはバラエティ番組を見る感覚で楽しんでもらいたくて始めたんですが、今までやってきたことの集大成になっていきます。演劇的要素も映像も、イベント企画も。演劇かそうじゃないか線引きしないで、テレビを見るようにリラックスして楽しめる新しいエンターテイメントを発信していきたいです」



【撮影場所】「この店の牛すじとベジタブルのカレーにはまってるんです」と上田さん。「Curry Store 万屋マイキー」札幌市中央区北1条東3丁目5 西村ビル1階
◎次回出演情報：物語のある大喜利対戦ライブ 札幌オーギリング 一周年記念興行「セカンドアンサー」
日程：6月27日(土) 会場：生活支援型文化施設コンカリーニョ